



地域と医療を結ぶ広報誌

風によせて

Shirakawa Kosei General Hospital

VOL.
66
2023.4
KAZENI
YOSETE



CONTENTS

- | | | | |
|----------------------|---|----------------------|---|
| ● 病院長挨拶 | 2 | ● 特集 | 5 |
| ● 医療連携 | 3 | ● 院内ニュース | 6 |
| ● こんにちは！新任です | 4 | ● 在宅診療ってどんなもの？ | 7 |
| ● はじめまして！研修医です | 4 | ● 総務課より | 8 |

特集

おくすりを正しく飲もう



JA福島厚生連
白河厚生総合病院





ごあいさつ salutation



病院長
農村健診センター所長
大木 進司



今月の表紙
Cover Story

【 新人オリエンテーション 】

今年も新たな仲間が加わりました。
皆様よろしくお願いいたします!!

「春の訪れ」

今年の桜の開花は各地で観測史上最速となりました。近年桜の開花時期が早まっていることや年末年始の日本海側の大雪や昨年の大雨は地球温暖化が一因とも考えられており、自然災害に関する備えは今後重要になっていくでしょう。とはいえこの季節は日に日に暖かさが増し、新たな生活が始まる門出の季節でもあります。報道等では今年は入学式や入社式それに続く歓迎会なども通常の形で行われることが多くなるとのことです。節目の行事はそれぞれの人生において思い出深いものであり、日常が戻ることで笑顔が増えるのは喜ばしいことです。

さて新型コロナウィルス感染症ですが、3月13日からマスク着用は個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断を基本とする方針が国から発出されました。一方で医療機関受診や高齢者施設訪問時、通勤ラッシュなど混雑した電車・バスに乗車するとき、高齢者や基礎疾患を有する人、妊婦さんはマスクの着用を推奨するという新しい感染対策が示されました。

マスク着用率が世界で最も高い日本において、この新たな方針が浸透して行くには少し時間がかかるかもしれません。それは日本人の文化的側面や民族性という部分にも関わることでありますが、なによりなぜ外していいのかということに関する科学的データをわかりやすく国が示してこなかったことも一因と考えます。東京大学は国が国民に対して新型コロナに関する感染や死亡のリスクをどれだけ正確に伝えたかという研究を行いました。「今後1ヶ月以内に感染する」という主観的なリスクは実際の感染リスクの10倍以上だったというデータが示されました。これは個人がリスクを過大評価していることを示していますが、今後新たな感染者や死亡者を結果的に最小限にするという見方以上に、やはり国からの情報提供が国民に正確に伝わっていなかったことを示す証左とも言えます。正しく恐れるということは正しい情報がなければ難しいものだとあらためて感じました。

そのような中、いよいよ5月8日からは感染症法上の分類が2類からインフルエンザと同等の5類に引き下げられます。しかしこれまで医療機関や高齢者施設等でクラスターを発生させたウィルスの本質は大きく変わっていないことも事実です。当院も含めほとんどの医療機関は当面これまでの感染対策を維持し、院内感染を最大限防ぐ方針を示しています。面会制限も含め、患者さんやそのご家族にはご不便をおかけしますが、ご理解をいただければと思います。

なにより一刻も早く新型コロナウィルスが消滅し完全な終息を迎えられることを切に望みますが、新型コロナウィルスだけが病気ではありません。当院は地域の皆さんが健康で安心して生活できるようこれからも質の高い医療を提供してまいります。

白河厚生総合病院について

基本理念

地域を守り地域の皆様に
愛される病院を目指します

基本方針

- 私たちは
- 一、医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します
 - 一、県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます
 - 一、患者さんを全人的に理解し、優しさと思いやりをもって接します
 - 一、十分に説明をし、患者さんの意志を尊重した医療を実践します
 - 一、使命を自覚し、たゆまず研鑽を積んで医療の質の向上と人材の育成に努めます

医療連携

登録医療機関の紹介

らくらく医院

旧大信村の地域医療の一翼を担ってきた「らくらく医院」を、医業継承制度により令和4年5月に継承致しました。これまでの上部内視鏡、腹部エコーに加え心臓エコー、24時間心電図、睡眠時無呼吸症候群の検査システムを加えることで幅広い視点での診療充実をはかり、地域総合医療を目指しています。

さらに地域の子育てをサポートする視点で助産師が常駐し母子支援を行っています。

高齢化、少子化に対応した地域の医療を地域の方々と共に進めてまいりますので、よろしくお願いします。

診療情報

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	○	○	訪問診療のみ 予約検査と	○	○	○	×
14:30~17:00	○	○		○	○	第2週 第4週のみ	

診療科目

内科

- 住所／〒969-0309 白河市大信町屋宇町屋 107-1
- TEL／0248-54-5333 FAX／0248-54-5334
- 院長名／大石 祐嗣（おおいし ゆうじ）



初期臨床研修についてのご理解とお願い

当院では、医師法第16条2に基づく基幹型臨床研修病院として、次世代の医師（研修医）を育成しております。将来にわたり患者さまに安全・安心な医療を受けていただくためには、研修医の存在は必要不可欠です。研修医は実習を通じて患者さんとの関わりを学ばせていただきます。そのため、外来や入院において、患者さまを指導医の指導のもと診察させていただくことがあります。指導医をはじめ多職種の職員が研修医の指導にあたります。引き続き、研修医の育成にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



こんにちは!

新任です



白河厚生総合病院では、新しい先生が新任、転任されました。

脳神経外科

針生 新也 (はりゅう しんや)
【出身地】宮城県



趣味・娯楽 ● 読書
略 歴 ● 平成21年 新潟大学卒業
資格・専門 ● 脳神経外科、脳卒中、脳血管内治療

医師になってはや 15 年目となりました。皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。

消化器内科

高橋 貴一 (たかはし けいち)
【出身地】群馬県



趣味・娯楽 ● カフェ巡り、子どもの世話
略 歴 ● 平成23年 東北大学卒業
資格・専門 ● 消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、上部消化管

遠く八戸から来ました。出身が群馬なので故郷から近くで働けて嬉しく思います。消化器全般頑張りますので宜しくお願いいたします。

総合診療科

小坂 明博 (おさか あきひろ)
【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 釣り
略 歴 ● 平成24年 日本医科大学卒業
資格・専門 ● 家庭医療専門医・指導医、家庭医療

白河市の住民の皆様が、身も心も健やかに過ごすことができよう、精一杯お手伝い致します。よろしくお願い申し上げます。

総合診療科

岡野 希恵 (おかの のぞみ)
【出身地】東京都



趣味・娯楽 ● ドライブ
略 歴 ● 平成30年 福島県立医科大学卒業
資格・専門 ● 医師免許、総合内科

初期研修を白河で行いました。また白河の皆様と働けることをうれしく思います。よろしくお願い致します。

整形外科

福田 裕也 (ふくだ ゆうや)
【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 野球、スノーボード、ゴルフ
略 歴 ● 平成31年 福島県立医科大学卒業
資格・専門 ● 整形外科一般

整形外科医として3年目を迎えます。未熟ではありますが、皆様のお役に立てよう努めて参ります。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

眼科

菊地有希久 (きくち ゆきひさ)
【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 料理・映画鑑賞
略 歴 ● 平成31年 福島県立医大卒業
資格・専門 ● 眼科専攻医、眼科一般

ご指導賜ります伊勢先生と共に、各手術・疾患についての理解を深めると同時に、地域の特徴等もアツク学ばせていただきます。宜しくお願い致します。

麻酔科

山崎 由貴 (やまざき ゆき)
【出身地】福島県



趣味・娯楽 ●
略 歴 ● 令和2年 福島県立医科大学卒業
資格・専門 ●

精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。

早く白河での職務に慣れるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

はじめまして!

研修医です



研修医

小林 一道 (こばやし かずみち) 【出身地】東京都



趣味・娯楽 ● 映画鑑賞、卓球
出身大学 ● 令和5年 福島県立医科大学卒業

4月より初期研修医としてお世話になります。小林一道と申します。医師としての第1歩を白河厚生総合病院で踏み出せることを嬉しく思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

研修医

酒井 貴史 (さかい たかふみ) 【出身地】奈良県



趣味・娯楽 ● 温泉、映画鑑賞
出身大学 ● 令和5年 福島県立医科大学卒業

初めまして。福島県立医科大学を卒業しました酒井貴史と申します。出身は奈良県で大学進学を機に福島県へ参りました。白河厚生総合病院にて研修できることを嬉しく感じております。医療者として未熟な身ですが、学ぶ姿勢を持ち続け日々精進して参ります。何卒宜しくお願い致します。

研修医

町田 夏希 (まちだ なつき) 【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 旅行、読書
出身大学 ● 令和5年 福島県立医科大学卒業

白河厚生総合病院で医師としての第1歩を踏み出せること、大変嬉しく思っております。至らない点も多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

研修医

村上 礼佳 (むらかみ れいか) 【出身地】岩手県



趣味・娯楽 ● 手芸、フルーツ
出身大学 ● 令和5年 秋田大学卒業

白河厚生総合病院で医師としての第一歩を踏み出せることを本当に嬉しく思います。多くのことを学び成長できるよう精進いたしますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

研修医

山川 莉沙 (やまかわ りさ) 【出身地】福島県



趣味・娯楽 ● 漫画、ソフトテニス、お菓子作りが好きです
出身大学 ● 令和5年 東北大学卒業

初めまして。郡山市出身の山川莉沙と申します。一日でもはやく皆様のお力になれるよう精一杯頑張ります! また、白河市の魅力もたくさん見つけていきたいです。よろしくお願い致します。

研修医

山元 想 (やまもと そう) 【出身地】宮城県



趣味・娯楽 ● ボードゲーム、バスケットボール
出身大学 ● 令和5年 福島県立医科大学卒業

研修医1年目の山元想と申します! まだまだ分からないことが多いとは思いますが、みなさまに少しでも近づけるよう臨床研修を楽しみつつ、レベルアップしていこうと思います!

Special 特集 feature

おくすりを正しく飲もう

薬剤科 木島 夏津葉

用法とは?

みなさんは薬の用法を正しく守って飲めていますか?

用法は「薬を飲む時間」という意味で使う言葉です。用法には様々な種類があります。

詳しい違いやタイミングをご存知でしょうか?

例) 食 前: 食事の約 30 分前

食 後: 食事の約 30 分後

食直前: 食事のすぐ前(いただきますを言うとき)

食直後: 食事のすぐ後(ごちそうさまを言うとき)

食 間: 食事と食事の間。食事の 2 時間後。
(食事中という意味ではありません!)

就寝前: 就寝する約 30 分前

(布団・ベッドに入る前)

頓 用: 発作が出たときや症状がひどいとき



なぜ用法を守らないといけないのでしょうか?

薬の用法は、たくさんの臨床試験を行って、有効性、安全性を確認して決められています。

食事の影響を受ける薬は少なくありません。用法を間違えると薬が十分に力を発揮できず、反対に副作用が出てしまうこともあります。

特に注意が必要なのは【**糖尿病**】の薬です。

糖尿病薬は、食事による血糖値の動きに合わせて、薬の効果がいつ出るかを考えたうえで処方しています。用法の間違いが原因で、低血糖などの重篤な副作用を起こしてしまいます。他にも生活習慣に合わせた薬は多く、用法を守ることは本当に大切になってきます。

用法を間違えないためには?

- ・薬と一緒に渡される薬の説明書や用法が書いてある薬袋の確認
- ・同じ用法の薬を一つのシートに入れる『一包化』を医師・薬剤師へ依頼
- ・薬を飲んだ記録
- ・薬用ケース、お薬カレンダーの利用
- ・行動に関連した薬の飲み方(歯を磨く前に飲む、風呂から出たら飲む) 様々な方法があり、患者さんの生活習慣に合わせて工夫しています。

「どうしても飲み忘れてしまう」「いろんな用法の薬を飲んでいて困っている」「人前で薬を飲みたくない」など、用法について悩みがある場合は医師・薬剤師にご相談ください。

NEWS
01第60回
卒業証書授与式

令和5年3月2日

専任教員
芳賀 洋平

令和5年3月2日(木)第60回卒業証書授与式が開催されました。

卒業生30名は、新型コロナウイルス感染症による制限がある中、一人ひとりが努力を惜しまず全力で学業生活や実習等に臨み、苦難を乗り越え卒業式を迎えることができました。

前原和平学院長から一人ひとりに卒業証書が授与され、「様々な困難を乗り越えることのできる、しなやかで強い心を持った看護師に成長されることを心から願っています」と式辞を述べられました。在校生代表の角田優桜さんが送辞を送り、卒業生代表の鈴木翔大さんが答辞を述べました。また、学院長賞1名、福島県医師会長賞1名、優秀賞3名、皆勤賞及び精勤賞6名が表彰されました。式典では、3年間の胸に秘めた想いが涙となり、会場全体を温かな雰囲気包み込みました。4月からは、それぞれが新たな志をもち、看護の道を歩み始めます。

NEWS
02

初期研修医修了認定式

臨床研修センター 土屋 陽平

研修医は2年間の研修における到達目標の達成を申告し、臨床研修委員会がその実績を調査し、到達目標の達成度を確認し修了を認定します。

2023年(令和5年)3月17日(金)、無事2年次6名全員の研修修了が認定され、大木院長から研修修了証を受け取りました。4月からは当院を離れ、それぞれの目指した進路へと向かう運びとなりますが、初期研修で会得した経験を糧に更なる躍進が果たせる事を切に願っております。2年間、本当にお疲れ様でした。



白河厚生総合病院での訪問診療の実際

白河厚生総合病院 総合診療科 鈴木 龍児

私たちが、訪問診療を開始してから約1年が経とうとしています。これまでの約1年間で、計55名の患者さんを訪問してきました。それぞれの地域や施設の実情に合わせた訪問診療の形があるなかで、今回は、私たちが行っている訪問診療の実際を紹介したいと思います。

現在は総合診療科の宮下医師・相田医師そして私の3名の医師が主に訪問診療をしています。医師が自ら車を運転して各家庭を訪問しています。訪問する頻度は患者さんの状態に応じて異なりますが、週に1回から2週に1回の頻度で訪問することが多いです。

訪問診療は、病院での診療と比べて、できる医療行為に制限があります。訪問診療では、継続して患者さんの状態を詳しく観察することは難しく、また、レントゲン検査のような画像検査はできません。一方で、症状について詳しく話を聞き、きめ細かい診察を行うほかに、採血・超音波検査などの検査や、痛みに対するモルヒネの持続投与などの治療行為も行っています。患者さんとそのご家族の意向に合わせ、安心・安楽に過ごせるケアを提供しています。

訪問診療では、看護師の他にケアマネージャーさん・ヘルパーさん・リハビリ療法士さんなどいくつかの職種の方と連携を図ってケアを提供しています。オンライン上で情報を共有するツールを用いて、異なる職種の間で効率的に連携をとる工夫をしています。そうすることで、ご家族の負担の軽減や安心につながると考えています。

最近では、訪問診療の依頼を受ける機会が多くなっています。私たちにとって、嬉しい限りです。一方で、どのようにして訪問診療をしているのか病院スタッフから質問を受けることも多くなっており、この文章が、そのような質問に答える一助になればと思います。

新年度(平成5年度)からは、家庭医療専門医である小坂明博先生が加わり、訪問診療を継続する予定です。訪問診療を考えている方はぜひ医師・看護師に相談してみてください。



「JA福島厚生連白河厚生総合病院 名誉院長前原和平先生、 農協人文化賞受賞」

総務課 鈴木 伸英

この度、前原和平名誉院長が第43回農協人文化賞を厚生事業部門では全国でただ一人受賞されました。

前原和平先生は、地域医療に多大な貢献をされ、地域の医療従事者の育成や医療の発展に尽力されてきました。そのたゆまぬ取り組みが高く評価され、今回の受賞を受けたことは大変光栄なことに思います。

受賞式にて、前原和平先生は「地域医療は、地域住民の健康を守るうえで欠かせないものであり、そのためには地域との密な関係を築くことが必要です。当病院では、地域住民の方々が安心して医療を受けられるよう、積極的にコミュニケーションを図っています。これからも、地域の方々に寄り添い、医療に貢献していきたいと思います。」と挨拶を述べました。

当院スタッフ一同、前原和平先生の思いを胸に、地域医療に貢献することを使命とし、地域の方々の健康を守るために日々努力しています。今後も、地域との連携を深めながら、地域医療に貢献していきたいと考えています。

最後に、改めて前原和平先生の受賞をお祝い申し上げ、今後ますますのご活躍を期待しております。

